

令和7年中



新潟県の高齢者事故の特徴



新潟県警察



高齢者の交通事故発生状況

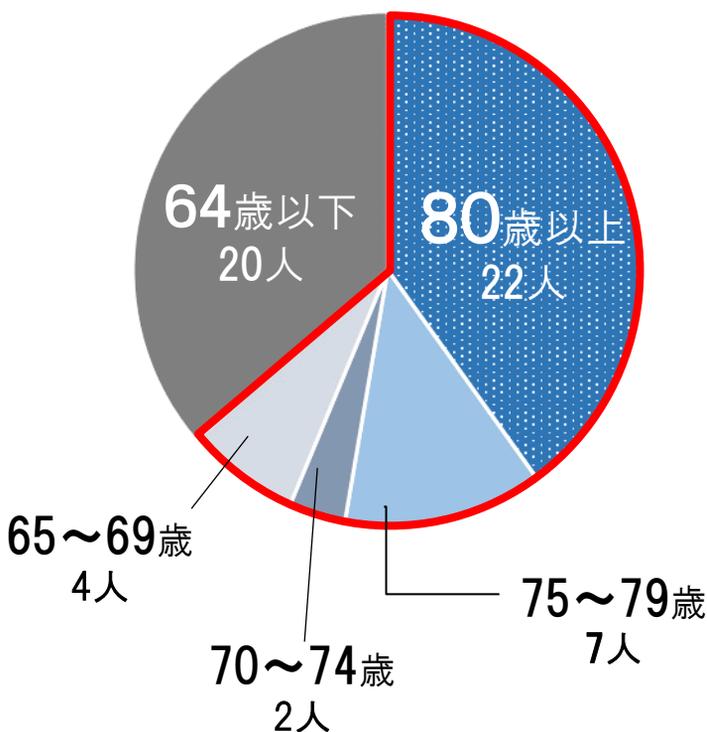
区分\年別	令和7年		令和6年	
	総数	うち高齢者	総数	うち高齢者
発生件数	2,514	1,126	2,671	1,172
死者数	55	35	55	39
負傷者数	2,824	583	3,045	591

令和7年中の新潟県の交通事故死者数は55人で前年と同数となりました。

対前年比では、高齢者の交通事故発生件数・死者・負傷者数はいずれも減少したものの、全体の死者数に占める高齢者の割合は、6割を超えました。

※「高齢者事故」…年齢65歳以上の者が関係した事故(同乗者含む。)のこと。

年齢別死者数

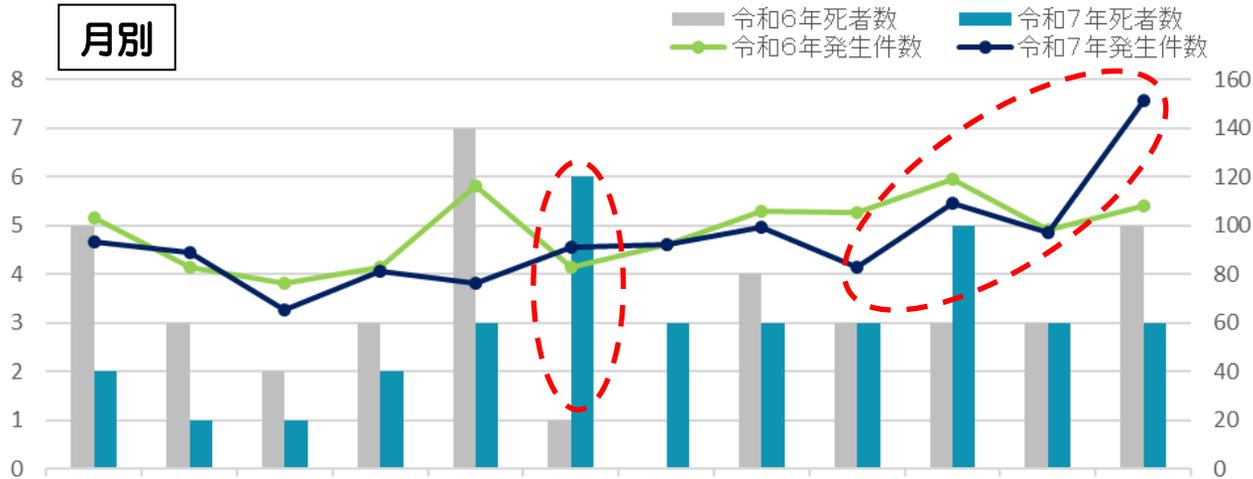


- ・ 高齢者の死者は**35**人
→全体の約**6**割(63.6%)
- ・ 高齢者死者のうち
→**75**歳以上は**29**人(82.9%)

高齢者事故はいつ発生してるの？

月別・時間帯別 発生状況

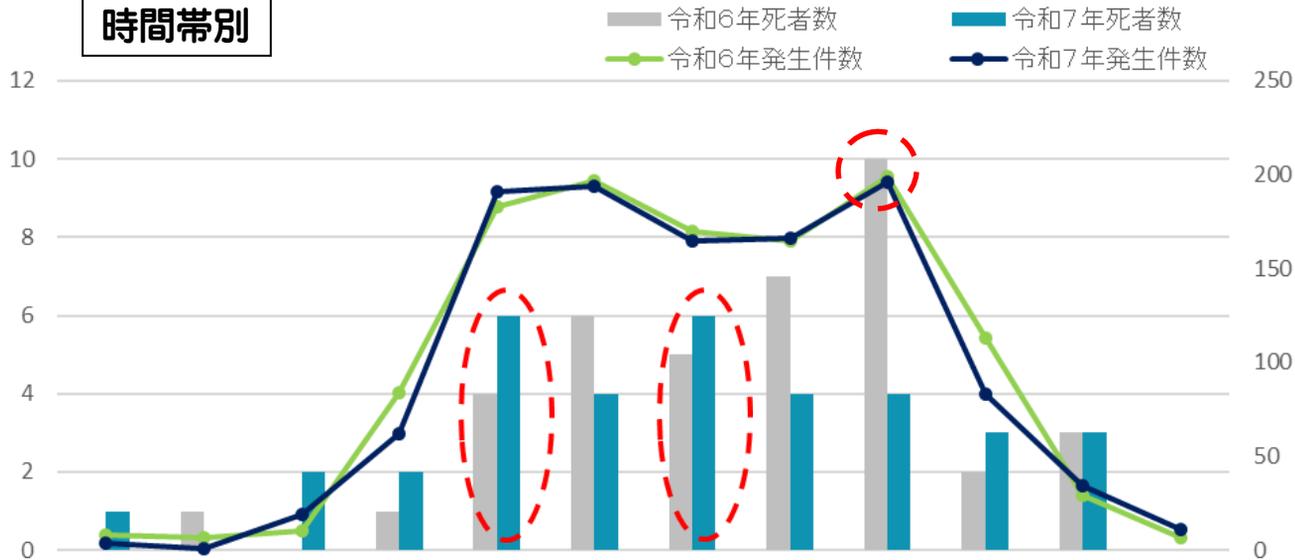
月別



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	93	89	65	81	76	91	92	99	83	109	97	151	1,126
(前年)	103	83	76	83	116	83	92	106	105	119	98	108	1,172
死者数	2	1	1	2	3	6	3	3	3	5	3	3	35
(前年)	5	3	2	3	7	1	0	4	3	3	3	5	39
負傷者数	49	46	32	40	41	44	36	49	43	62	51	90	583
(前年)	57	51	39	43	52	47	38	47	50	56	51	60	591

発生件数は、**年末**にかけて増加傾向で、死者数は、**6月**が最も多くなりました。

時間帯別



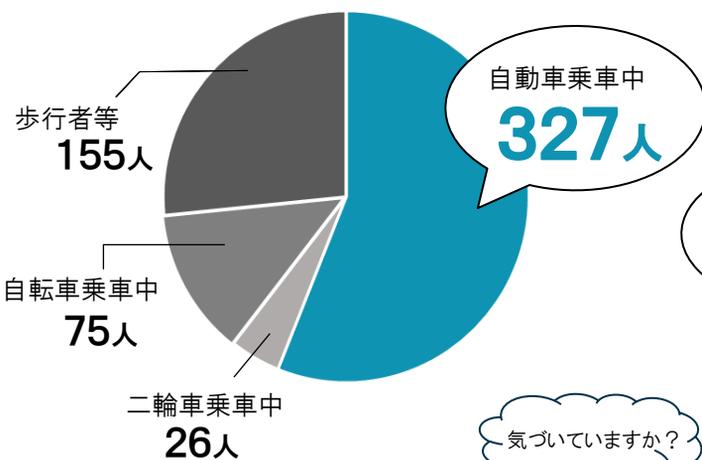
区分\時間帯	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
発生件数	4	1	19	62	191	194	165	166	196	83	34	11	1,126
(前年)	8	7	10	84	183	197	170	165	199	113	29	7	1,172
死者数	1	0	2	2	6	4	6	4	4	3	3	0	35
(前年)	0	1	0	1	4	6	5	7	10	2	3	0	39

発生件数は、**16時から18時**が最多となりました。
 死者数は、**8時から10時**と**12時から14時**が最多の**6人**でした。

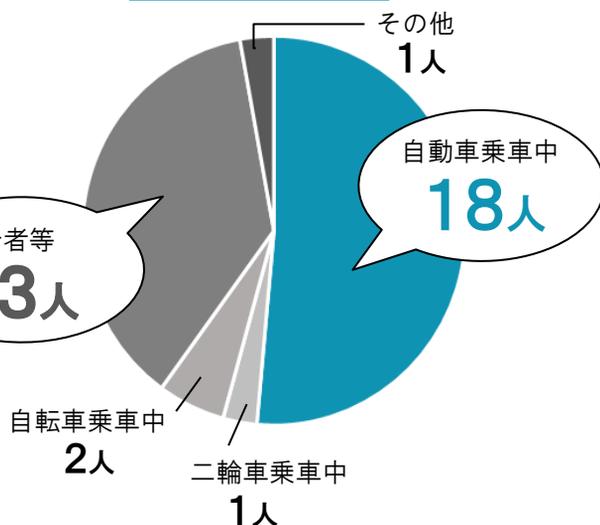
どんな事故が多いの？

状態別の交通事故発生状況

負傷者数



死者数



気づいていますか？



心と体の変化

年齢を重ねると、認知機能や身体機能が変化し、交通事故の原因になることがあります。

たとえば...

- ▶ 長年の経験が思い込みとなり、安全確認が不十分になる
- ▶ 上下・左右ともに視野が狭くなり、信号や標識を見落としてしまう
- ▶ 反射神経が衰えて、危険に対してとっさに対応できなくなる

交通事故防止のポイント

✔ 「だろう」ではなく、「かもしれない」運転をしましょう

「こんな時間に、こんな場所に人や自転車なんていないだろう」ではなく、「もしかしたら歩行者がいるかもしれない」、交差点で「自転車が出てくるかもしれない」など、危険を予測した運転を心がけましょう。



✔ 顔や体を向けて安全確認しましょう

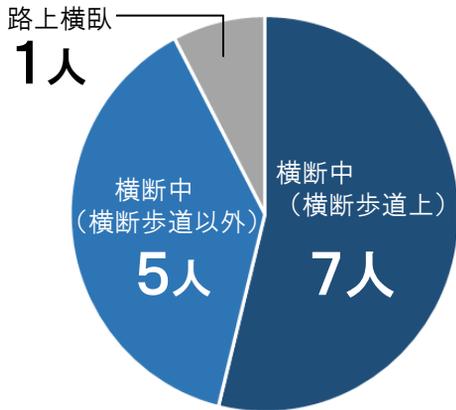
見たい方に顔や体をしっかりと向けて、安全確認しましょう。特に道路を横断する際は、車などが来ていないか遠くまでしっかりと確認しましょう。



歩く時也要注意！

歩行者事故死者15人中13人が高齢者！

歩行者事故死者の状態別



高齢者の

歩行者事故死者**13**人のうち

→ **12**人が「横断中」

道路を歩くときの

交通事故防止のポイント

✓ 歩行者も交通ルールを守りましょう！

道路を渡るときは、

- 近くに横断歩道や押ボタン信号がある場合は、横断歩道や押ボタン信号を必ず使用する
- ななめ横断や車の直前・直後の横断はしないなど、歩行者も交通ルールを守りましょう。

✓ 「渡るよサイン」と「安全確認」

道路を渡る時は、横断前だけでなく、車が近づいてこないか、横断中も左右をよく確認しましょう。

「手をあげる」「胸の前にかざす」「顔や体をドライバーに向ける」などの“渡るよサイン”でドライバーなどに横断の意思を伝えましょう。

✓ 夜光反射材を使いましょう

夕暮れ・夜間は、明るい色の服装を着たり、夜光反射材を着用したりするなど、ドライバーなどに自分の存在を知らせましょう。



自転車事故に要注意！

自転車乗用中の死者2人中2人が高齢者



〈 死者2人の事故類型 〉

自転車と軽乗用車の衝突

自転車の路外逸脱・転落

死者2人は
ヘルメット非着用でした

高齢自転車事故の死傷者の
ヘルメット着用状況



自転車に乗るときの

交通事故防止のポイント

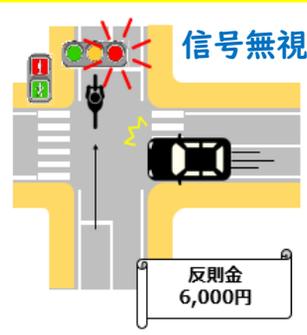
自転車安全利用五則

(令和4年11月1日改定)

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

令和8年4月1日から 16歳以上の自転車の運転者が
交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)の対象となりました

法改正により、16歳以上の自転車の運転者が一定の違反行為をした場合、交通反則通告制度(青切符)の対象になりました。
(令和8年4月1日施行)



車の運転も要注意！ 高齢運転者による

車両単独事故や歩行者との事故が多い！

高齢運転者事故の事故類型別の死者数

高齢運転者事故の死者数 **22人**



※「高齢運転者事故」…年齢65歳以上の者が原付以上の車両を運転中に第1当事者となった事故のこと。

車を運転するときの

交通事故防止のポイント

✓ 越後補償運転の「**天**」・「**地**」・「**人**」で交通事故を防ぎましょう

※ 補償運転とは、加齢による心身の変化から生じる危険を回避するための安全運転のことです。

「**天**」: 天気の良いときに運転しましょう

悪天候時や夜間は視界が悪く、危険の発見が遅れ、交通事故のリスクが高くなります。なるべく天候の良い時・日中に用事を済ませるようにしましょう。

「**地**」: 土地勘のある道を運転しましょう

初めて通る道では、目的地を探すあまり注意力が散漫になりがちです。できるだけ通り慣れた道を選び、慎重に運転しましょう。

「**人**」: 人に運転を見てもらいましょう

自分では加齢に伴う運転の変化や癖などに気づきにくいものです。家族や友人に運転を見てもらい、アドバイスに耳を傾けましょう。



不安に思うことが多いな…と感じたら

安全運転相談ダイヤル「**#8080(シャープハレバレ)**」へ電話相談を！

不安



いつまでもお元気で・・・

新潟県警察 交通安全 



ぜひ
みてね!

YouTube



新潟県警察交通部「ひかるくんの交通安全」

新潟県警察公式チャンネル



公式X (旧Twitter)

検索または
二次元コードから
アクセス!

